

横浜市新型コロナウイルス対策本部会議 議事要旨	
日 時	令和3年3月18日（木）19時00分～19時30分
開催場所	市庁舎10階 危機管理センター本部会議室
出席者	<p>【正副本部長】 市長、平原副市長、小林副市長、城副市長、林副市長、高坂危機管理監</p> <p>【局・統括本部】 温暖化対策統括本部長（代理：温暖化対策統括本部副本部長）、政策局長、総務局長、財政局長、国際局長、市民局長（代理：市民局副局長）、文化観光局長、経済局長、こども青少年局長、健康福祉局長、医療局長、医療局病院経営本部長、環境創造局長、資源循環局長、建築局長、都市整備局長、道路局長、港湾局長、消防局長、会計室長、水道局長、交通局長、教育長、選挙管理委員会事務局長（代理：選挙管理委員会事務局選挙部長）、人事委員会事務局長、監査事務局長、議会局長</p> <p>【区】鶴見区長、南区長、瀬谷区長</p> <p>【その他】危機管理室長、政策局政策調整担当理事、保健所長</p>
開催形態	マスク公開
議 事	<p>開 会</p> <p><u>1 市内の状況について</u></p> <p>(1) 感染発生等の状況<健康福祉局> 資料1に沿って説明【健康福祉局長】 ≪本日の感染者数について≫【本部長】 ・本日の感染者数は、77人で、そのうち27人が大学の運動部の方である。（運動部の方は、全員が軽症者と無症状者）</p> <p>(2) 医療提供体制の状況<医療局> 資料2に沿って説明【医療局長】 ・現在の重症者数は、昨年4月以降で最も少ない。（3/18時点で3床） ・陽性患者（重症＋中等症等）の病床使用数は11月上旬と同程度である。（約100床） ・発熱等疑似症患者の病床使用数が多いのは、疑似症を受け入れる病院が増えていることも要因であると推測する。</p> <p>(3) ワクチン接種に向けた準備状況<感染症・医療調整本部> 資料3に沿って説明【健康福祉局長】</p> <p><u>2 国や県の動向を踏まえた本市の対応について<本部運営調整チーム></u> 資料4に沿って説明【危機管理室長】</p> <p><u>3 本部長指示</u> 別紙のとおり</p> <p><u>4 その他</u> 【本部長】 ・鶴見区長に、先日実施したワクチン集団接種シミュレーションの状況を伺いたい。</p> <p>【鶴見区長】 ・鶴見公会堂に集団接種会場を模擬的に設置し、6レーンに分かれた接種のシミュレーションを実施した。 ・結果として、導線の確保を明確にする（待合室を広げる等）といった具体的な課題が見えてきたため、今後しっかりと対応していきたい。</p>

	<p>【本部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私もシミュレーションを見たが、医師の方々がしっかりやっていただき、参加いただいた市民の方々も協力的だったことが印象的だった。 ・ワクチン接種の着実な推進については、配給量にもよるが、しっかりと取り組んでいただきたい。 <p>閉 会</p>
<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>1 資 料</p> <p>《市内の状況について》</p> <p>資料1 感染発生等の状況【健康福祉局】</p> <p>資料2 医療提供体制の状況【医療局】</p> <p>資料3 ワクチン接種に向けた準備状況【感染症・医療調整本部】</p> <p>《国や県の動向を踏まえた本市の対応について》</p> <p>資料4 国や県の動向を踏まえた本市の対応について【本部運営調整チーム】</p> <p>2 特記事項</p> <p>なし</p>

本日、政府は、神奈川県を含む1都3県を対象とした緊急事態宣言期間を、3月21日をもって終了することを決定いたしました。2か月半の長きにわたり、市民・事業者の皆様、医療従事者の皆様と力を合わせて、感染症対策に力を尽くしてきた結果だと思えます。心から感謝申し上げます。

横浜市は、宣言期間の終了を受け、4月21日までの間、これまで20時までとしていた市民利用施設の利用時間を、21時までといたします。

市主催のイベントは、国や県が示す基準に従い、4月21日までは人数の上限を1万人、開催時間を21時までとします。

横浜市内の新規陽性患者数は、直近1週間で313人となっており、過去最多となった1月中旬の1週間の2,723人と比べて大きく減少しています。

また、入院患者さんのうち、重症の方は4人で全体の2%、中等症の方は48人で18%、残りの80%が軽症・無症状の方で214人となっています。現在、横浜市が確保した病床に入院されている陽性患者さんは103人で、病床占有率は18.7%となっており、通常医療と感染症医療をしっかりと両立しています。

暖かな春を迎え、これから徐々に催しが再開されていきます。27日からは「ガーデンネットワーク横浜2021」がスタートいたします。夏には「東京2020オリンピック・パラリンピック」が控えています。日本で57年ぶりとなる夢と感動の舞台を成功させるためにも、そして何より、私たちの平穏な日常と街の賑わいを取り戻すためにも、感染の再拡大を何としても防ぐことが重要です。新たに、変異株の広がりも懸念される中、医療提供体制をしっかりと維持していくためにも、感染者数のリバウンドは絶対に避けなければなりません。

政府は、感染の再拡大防止策として、飲食の感染対策、変異株対策の強化、監視のため

の検査拡充、ワクチン接種の推進、医療提供体制の充実、の5項目を打ち出しています。

横浜市としても、引き続き、国や県と連携し、全国の感染状況や動向を注視しつつ、リバウンド防止に全力を尽くしていきます。

感染拡大の状況を早期に把握するため、国が実施する、無症状者を対象としたPCR検査によるモニタリングに協力していきます。

また、横浜市では、帰国者・接触者外来で検査を受け、陽性が確認された検体の5%程度について、変異株のスクリーニング検査を行っています。引き続き、国立感染症研究所とも連携し、しっかりと対応していきます。

今後、感染が再拡大した場合に備えて、横浜市は、陽性患者さんのための病床の増床に努め、現在、550床を確保しています。また、発熱等のコロナを疑う患者さんを受け入れる病床についても、より多くの医療機関にご協力いただくことで、現在約200床を確保しています。

そして、今、横浜市が総力を挙げて準備を進めているのが、コロナ収束の決め手となり得る、ワクチン接種です。

まずは、4月12日の週から、高齢者施設での接種を開始します。

市民の皆様からのワクチンに関するお問合せやご不安の声にお答えするため、ワクチン接種専用コールセンターも300回線、開設しています。接種会場で、受付から接種後の経過観察までの流れや手順を確認するシミュレーションを、鶴見区、高齢者施設で実施しました。今後も順次実施し、全18区の接種会場でシミュレーションを行っていきます。

ワクチンを安全かつ効率的に医療機関や集団接種会場に配送できるよう、4月には、ワクチン配送管理センターを設置します。

ワクチン接種は発症の予防、流行の防止に大きな役割を果たします。円滑に、そして安心してワクチンを接種していただけるよう、引き続き、市を挙げて全力で準備を進めていきます。

緊急事態宣言期間が終了し、一刻も早く社会経済活動を回復軌道に乗せるために、横浜市は、事業者の皆様をお支えする取組を着実に進めていきます。

事業者の皆様は、長引く時短要請により、これまで経験したことのない困難に直面していらっしゃると思います。何としても皆様をお支えするという思いで、これまで約 23,600 件、4,900 億円にのぼる制度融資による資金繰り支援などを通じて、皆様の事業の継続をお支えしてきました。

今後さらに、オンライン商談やテイクアウトなどコロナ禍で新たな事業を展開するための設備投資や販路開拓をご支援していきます。横浜商工会議所をはじめとする関係機関と連携して横浜の成長の基盤を支えてくださっている、事業者の皆様をしっかりとお支えしていきます。

各本部員に指示します。何としてもリバウンドを防止するという姿勢で、リーダーシップを一層発揮してください。市民、事業者の皆様や関係する団体・業界等の皆様に、あらゆる機会やツールを用いて、感染症対策の再徹底を呼びかけてください。

これからお花見や歓送迎会の季節を迎えますが、市民、事業者の皆様におかれては、引き続き感染症対策を徹底していただくようお願いいたします。

市民の皆様に改めてお願いいたします。

- 人との接触機会を極力減らすため、昼夜を問わず、不要不急の外出、特に 21 時以降は自粛してください。
- 卒業旅行、謝恩会、歓送迎会は控え、花見は宴会なしでお願いします。
- 大人数や長時間に及ぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、休憩室・喫煙所・更衣室に入ったときなど、感染リスクが高まる「5つの場面」を避け、在宅勤務や時差出勤にもご協力ください。

- 室内の換気や3密の回避、手洗い・消毒、マスクの着用など、基本的な感染防止策を引き続き徹底してください。

事業者の皆様にもお願いいたします。

- 飲食店等の21時までの時短営業や、イベントの開催制限など、国・県の方針で求められている事項にご協力ください。
- 業種別ガイドラインを参考に、感染防止策の徹底をお願いいたします。
- 「出勤者数の7割削減」を目指し、テレワークやローテーション勤務、時差出勤、昼食時間の分散化など、通勤・在勤時の密を防ぐ取組をお願いいたします。

私たちは、2度にわたる緊急事態宣言を乗り越えてきました。横浜市は、今後も、国や県、医療機関の皆様と連携して、市民の皆様の命と暮らしをお守りし、経済再生の実現に全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくをお願いいたします。